

第16回 検査血液学会学術集会 形態診断のためのケースカンファレンス

症例 3

山本 雄一
済生会松阪総合病院 検査課

日本検査血液学会
COI（利益相反）の開示
筆頭発表者名： 山本 雄一

すべての共同発表者を代表し、本発表演題に関連して
開示すべきCOI関係にある企業等はありません。

日本検査血液学会

症例3 80歳代 女性

主訴：左腋窩の腫瘍

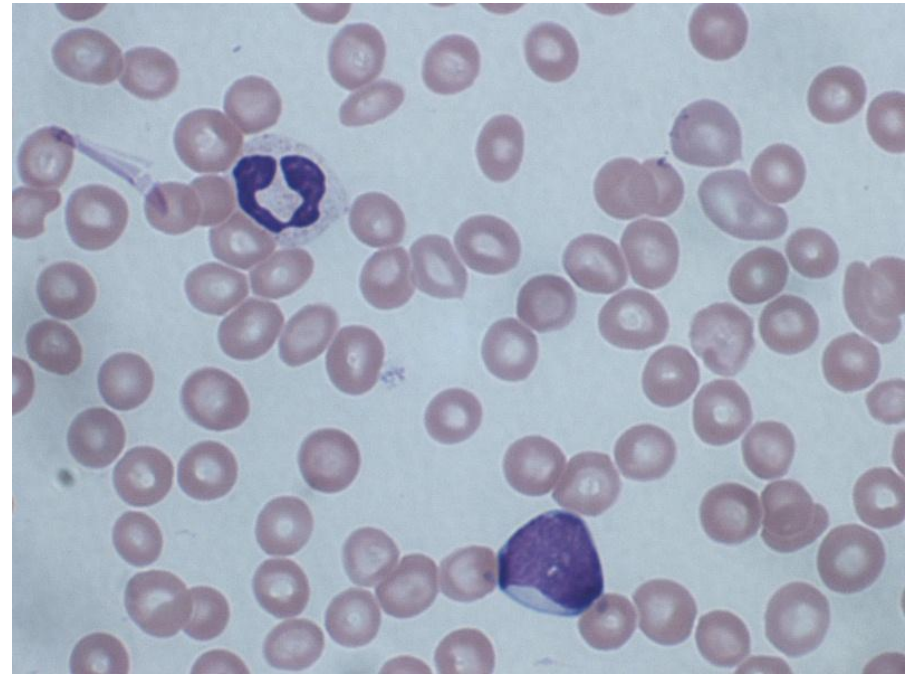
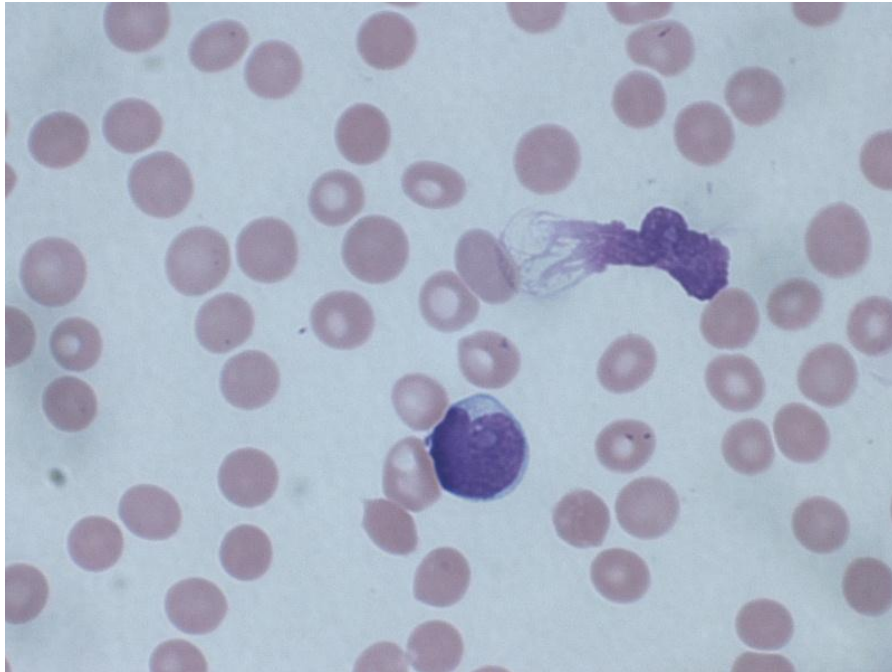
現病歴：左腋窩に小豆大の腫瘍を触知。その後
急速に増大を認め、当院外科紹介受診。

症例3 入院時検査所見

【血液一般】			【止血・血栓】			【生化学】		
WBC	6.8	× 10 ⁹ /L	PTs	12.0	秒	TP	6.8	g/dl
RBC	3.25	× 10 ¹² /L	PT%	78	%	Alb	2.6	g/dl
Hb	9.3	g/dL	PT-INR	1.15		LD	410	IU/l
MCV	91.7	fL	APTT	35.3	秒	AST	47	IU/l
PLT	89	× 10 ⁹ /L	Fbg	199	mg/dl	ALT	20	IU/l
			FDP	2.3	μg/ml	ALP	928	IU/l
Seg	45	%				T-Bil	1.5	mg/dl
Lym	44	%				BUN	14.0	mg/dl
A-Lym	6	%				Cre	0.59	mg/dl
Mono	5	%				Ca	9.1	mg/dl
						UA	6.1	mg/dl
						IgG	2092	mg/dl
						IgA	409	mg/dl
						IgM	455	mg/dl
						フェリチン	111.5	ng/ml
						sIL2R	4472	U/ml

症例3 末梢血所見

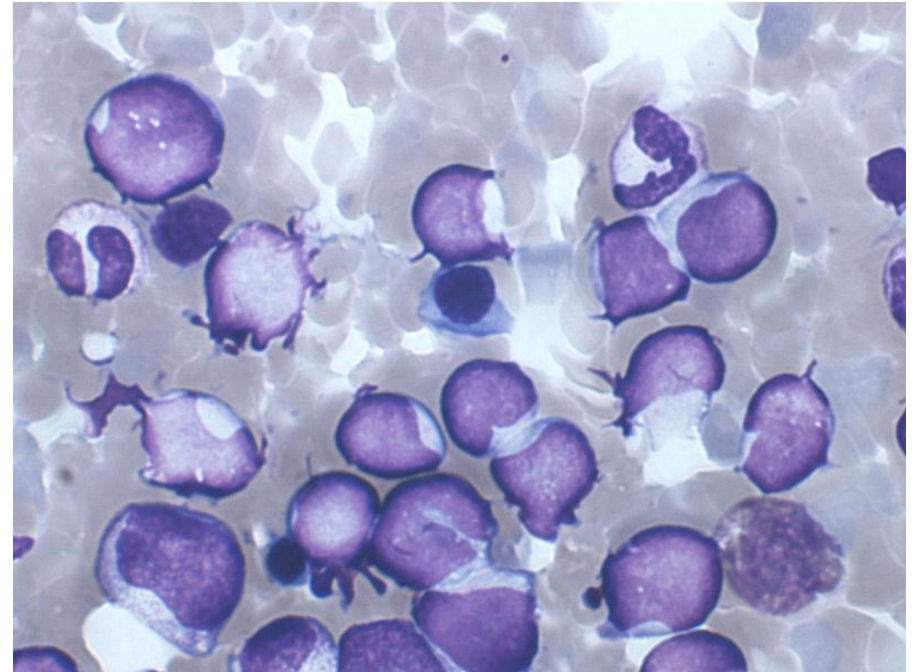
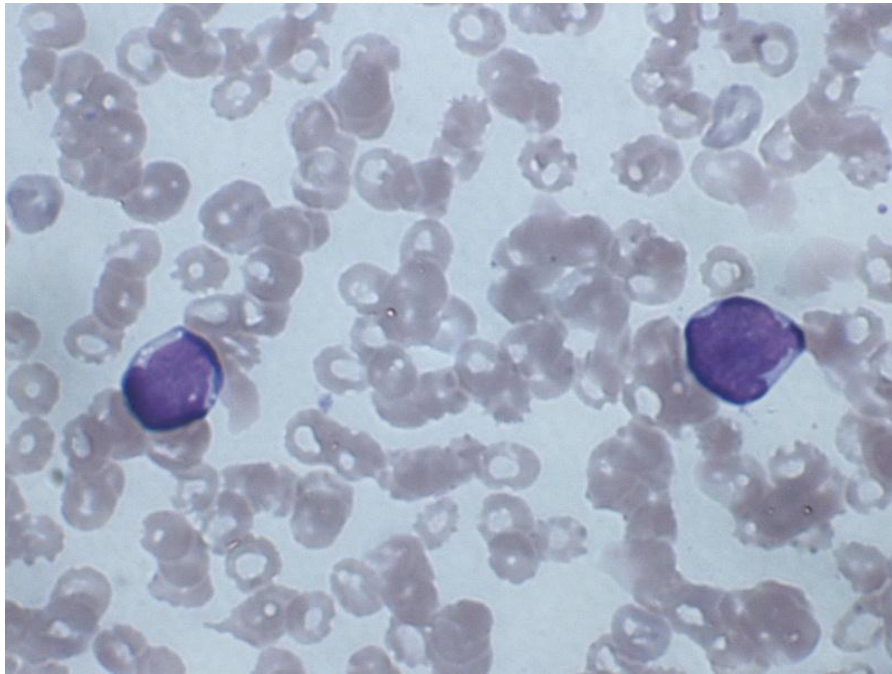
【末梢血 MG染色】



小～中型でN/C比大、核異型を伴う
細胞を6%認める。

症例3 骨髓所見

【骨髓 MG染色】



小～中型でN/C比大、核異型を伴う
細胞を47.6%認める。

症例3 細胞表面抗原解析

【CD45 Gating】

CD19+	77.0 (%)
-------	----------

CD20+	84.3 (%)
-------	----------

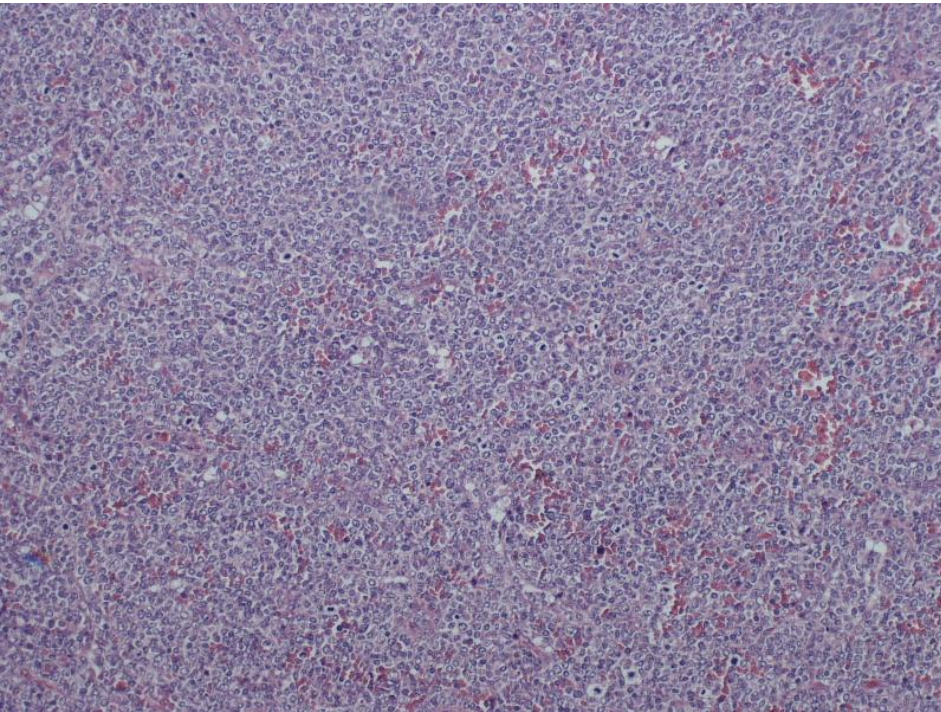
CD5+	92.0 (%)
------	----------

κ -ch+	84.1 (%)
---------------	----------

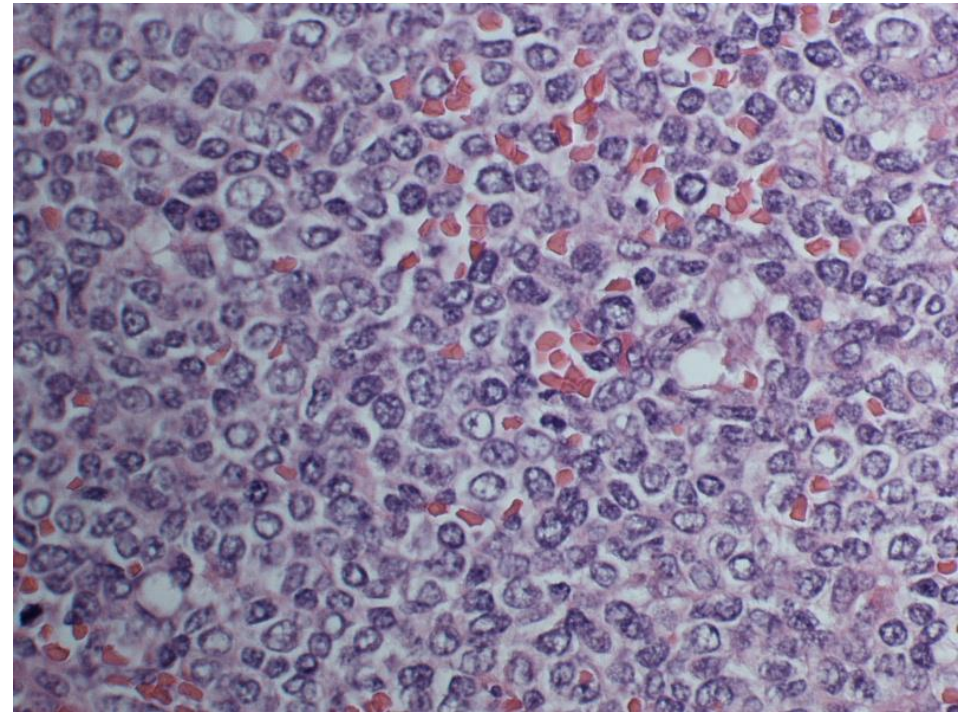
CD3-	11.1 (%)
------	----------

CD10-	0.8 (%)
-------	---------

症例3 病理組織診

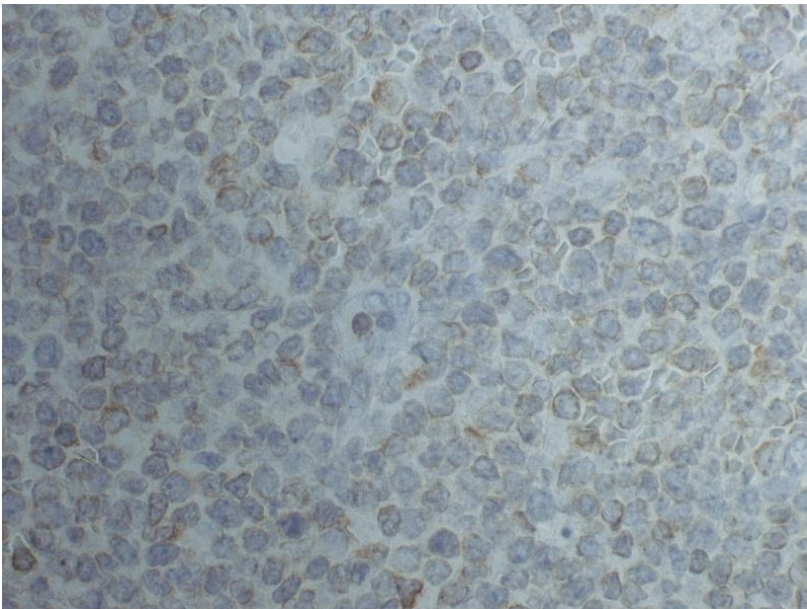
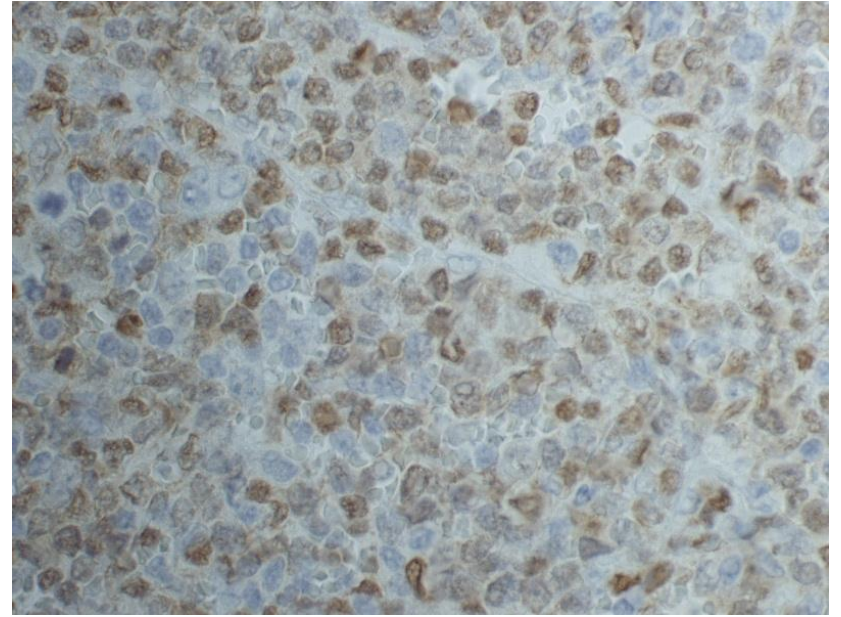
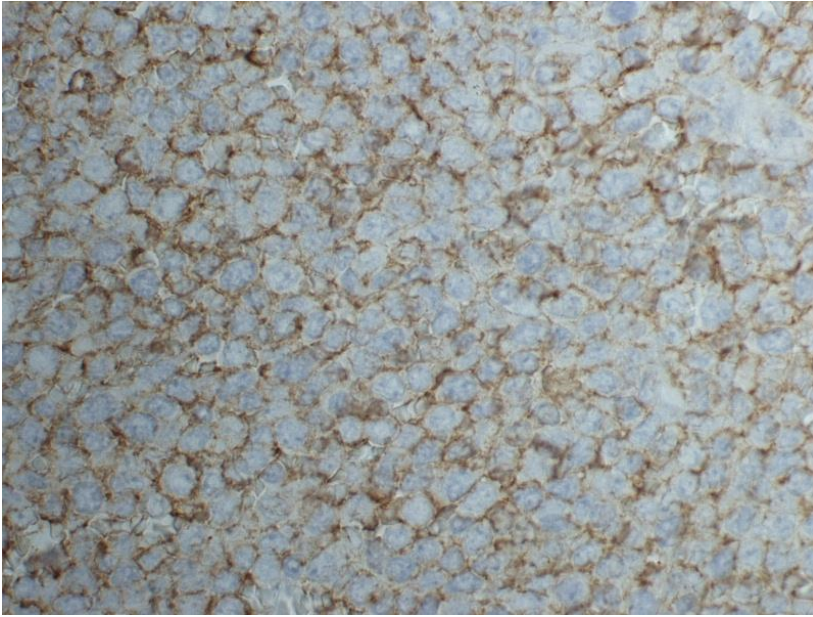


HE × 100



HE × 400

症例3 免疫染色結果



CD20	cyclin D1
bcl-2	

症例3 染色体解析

【G-BAND法】

46, XX [20]

症例3 マントル細胞リンパ腫

- Mantle cell lymphoma (MCL) -

- ・本邦の発生頻度は、全リンパ腫の2～3%
- ・小～中型で核異型を伴うB細胞性腫瘍
- ・CD20+,CD5+,CD3-,CD10-,BCL6-,cyclinD1+
- ・95%以上の症例でt(11:14)(q13;q32)を認める

症例3 鑑別疾患

- 濾胞性リンパ腫

腫瘍性結節に一致してCD10+, bcl-2+であり、
MCLもbcl-2 +/- のため、CD5-, CD10+の確認が必要

- 濾胞辺縁帯リンパ腫

濾胞辺縁帯を主座として増殖するが、胚中心内に
浸潤して濾胞性リンパ腫に類似した結節を形成する
ことがあるため鑑別が必要

- 小リンパ球性リンパ腫

マントル細胞同様CD5+であるが、
cyclin D1-, CD23+が重要な鑑別点